

文部科学省「AI for Science 萌芽的挑戦研究創出事業 (SPReAD)」第1回公募で、
神奈川大学から3件が採択
— 全体採択率 2.9%の難関を突破、本学採択率は 8.1%を記録 —

2028年に創立100周年を迎える神奈川大学(本部:横浜市、学長:戸田 龍介)では、文部科学省が実施する令和8年度「AI for Science による科学研究革新プログラム AI for Science 萌芽的挑戦研究創出事業 (SPReAD)」第1回公募において、本学から応募した3件の研究プロジェクトが採択されたことをお知らせします。

●本学の採択状況と組織的支援

本公募では、応募総数15,868件に対し456件が採択され、採択率はわずか2.9%という狭き門となりました。その中で本学は、組織的な応募支援のもと37件の研究提案を行い、3件が採択されました。本学の採択率は8.1%と、全体平均を大きく上回る結果となり、応募件数30件以上の首都圏の国公立大学の中では最も高い水準となりました。

今回の結果は、採択された研究者個々の独創的な研究構想に加え、本学がAI for Scienceに関する研究提案を積極的に後押ししてきたことを示すものです。本事業への応募に際しては、研究推進部で事務職員とURA(University Research Administrator)による支援体制を組成し、公募情報の共有、応募内容の相談、研究計画調書のチェック等を通じて、研究者の挑戦を組織的に支援しました。

今回採択された3課題はいずれも、「光と物質の相互作用」を起点とするAI for Science研究です。5フェムト秒光で誘起される量子コヒーレント反応の解明、量子相関光と分子の相互作用の原理探索、光学力と発熱を制御する誘電体ナノ構造の設計など、それぞれ異なる分野においてAIを活用しながら複雑な自然現象の理解と制御に挑戦します。

●採択課題の概要

- 量子コヒーレント反応×AI:未知の反応座標を数式化する「逆問題の探索」
 - 研究代表者:岩倉 いくみ(化学生命学部 教授)
 - 課題名:「量子コヒーレント反応座標の解明:5fs 光実験とAI解析で拓く量子非平衡化学」
- 量子相関光×AI:少数データから支配原理を導く「Human-in-the-loop」
 - 研究代表者:橋本 征奈(化学生命学部 特別助教)
 - 課題名:「少数高信頼データとAIによる量子相関光-分子相互作用の支配原理探索」
- ナノ構造化学×AI:物理現象を模倣するAIによる「超高速逆設計」
 - 研究代表者:東海林 竜也(理学部 教授)
 - 課題名:「AI サロゲートを用いた強光学力と低発熱を両立する誘電体ナノ構造の逆設計」

●本学の取り組みと今後の展望

SPReAD は、AI の活用により科学研究の高度化・加速化を図り、AI for Science の波及・振興を促進することを目的とした事業です。

また、今回の 37 件の応募は、本学の研究者が AI を活用した新たな研究展開に積極的に挑戦した結果でもあります。今回の採択を契機として、研究者の自由で独創的な発想を尊重しながら、法人・大学として研究提案力の強化、外部資金獲得支援、分野横断的な研究連携をより推進してまいります。

本学は、AI for Science の実践を通じて、科学研究の発展と社会課題の解決に貢献するとともに、神奈川大学の研究力をさらに高めてまいります。

●神奈川大学 佐藤裕美副学長のコメント

報道もされている通り採択率 3%弱、倍率 35 倍というという狭き門であるにも関わらず、本学の研究者が 3 名採択となり副学長としても大変誇らしく、また嬉しく思います。

日頃より本学の研究者が積み重ねてきた研究が実ったと感じています。本採択を機により研究が進むことを期待します。また、次の申請が迫っていますので、引き続きより多くの研究者の研究が進むよう支援してまいります。

●関連ページ

- 文部科学省「AI for Science 萌芽的挑戦研究創出事業 (SPReAD)」公式 Web サイト
https://www.mext.go.jp/aifors_spread/
- 令和 8 年度 AI for Science による科学研究革新プログラム AI for Science 萌芽的挑戦研究創出事業 (SPReAD) 第 1 回公募採択課題一覧 (pdf)
<https://mext.ent.box.com/s/l5ppajodlcyc0q18vegqt2g6wnazdzc1>

本件に関する問い合わせ先

企画政策部広報課 中嶋健一 TEL. 045-481-5661(代表) E-mail. kohou-info@kanagawa-u.ac.jp